

# 1 各校（園）での特色ある学校づくり

■学校教育課 ☎ 43-9025  
■子育て応援課 ☎ 43-9024

令和4年度の各校（園）の取り組みを紹介します。

## ●加悦中学校

### 生徒会「花植えボランティア」の取り組み

生徒会役員を中心に、春と秋の2回、花植えボランティアの取り組みを進めています。令和4年度はK.S.S.C（加悦中学校スクールサポート協議会）のご協力も得ながら、プランターや敷地内の花壇づくりに取り組みました。これからも心と環境づくりに努めていきます。



## ●橋立中学校

### 「ふるさと」に目を向けて…

「ふるさと俳句」と「ふるさと発信」が本校の2つの柱です。その一環として地域にお住まいの方を講師として招き、俳句教室を開催しました。1年生にとっては、本格的な俳句の学習は初めてとなりますが、なかなか味のある作品を作ることができました。昨年の12月には、保護者にも投句していただき作品の鑑賞会を行いました。優秀な作品として選ばれたものは、懸垂幕を作成してグラウンド横に掲出します。



## ●江陽中学校

### コミュニケーション能力の向上をめざした取り組み 「Brush Up Our Communication Skills」

コミュニケーション能力の向上をめざした取り組み「Brush Up Our Communication Skills」を進めています。エフエム京都（α-STATION）からキャスターを招き、「伝わるように伝える」ということの大切さを教えていただきました。普段、生徒たちが発表する場面でも言葉を吟味し、「表現」にこだわった内容で自分の思いが伝わるよう意識して活動を行っています。



## ●加悦小学校

### 仲間と学び合うことを通して、自らの学びに生かそう

再編3年目。人とのつながりを大切にしながら教育活動を進めています。毎学期行っている全校SST（ソーシャルスキルトレーニング）では、「気持ちのよいあいさつと返事」「友達の話上手に聴こう」「あたたかいメッセージを伝え合おう」という内容で、言葉を通して思いを伝え合い、児童を育てています。



# 与謝野町の教育

～明日の人材を育てる教育文化のまちづくり～



旧加悦鉄道車両車庫新設等工事落成式の様子（令和4年4月13日）

近代化のシンボルであった旧加悦鉄道は、昭和元年（1926）から昭和60年（1985）まで、加悦谷地域のヒト・モノの移動を支えてきました。加悦SL広場の閉園に伴い、多数ある車両の中から123号機関車（旧加悦鉄道2号機関車）を含む3車両を与謝野町が譲り受けました。今後は、与謝野町文化財保存活用地域計画（令和4年7月22日に文化庁認定）に則して、123号機関車をはじめとした文化財の保護行政の推進に努めていきます。

与謝野町が目指す未来像は「人・自然・伝統 与謝野で織りなす新たな未来」です。この新たな未来とは、22世紀を生きる子どもたちの未来であり、人生100年時代を生きる私たちの未来です。そして、この未来社会は、人工知能が驚異的な進化を遂げ、Society 5.0と称される超スマート社会であり、私たちの想像を遙かに超える社会とされています。

教育の最終的な目標は、「一人ひとりと社会全体の幸福実現に資すること」と思っています。幸福になるためには、社会をより良く生きるための知識や技術、そして確かな人権意識が当たり前のこととして必要です。さらに、人としての豊かな創造力、絆を強めるコミュニケーション・スキルやレジリエンス（回復力・しなやかさ）などが、今以上に重要になると考えられます。

与謝野町、教育委員会、組合教育委員会の「新たな未来」を織りなす活力ある人や、地域を創る魅力ある取り組みをご覧ください。

与謝野町教育委員会  
教育長 長島 雅彦